



ひまわり



進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

第289号

令和7年7月18日

いよいよ 夏休み

熱中症の心配をすることが多く、年々温暖化が進んでいるのを感じます。熱中症指数を調べることが日課となり、大休憩や昼休憩の外遊び、水泳指導ができるかどうか日々心配しましたが、安全第一で毎日過ごすことができました。いよいよ夏休みの始まりです。40日以上長い休みとなります。日頃できない体験をして、充実した休みになることを願っています。9月1日には、元気いっぱいに登校してくれることを楽しみに待っています。

コメコメ大作戦 7月 生き物調査の児童の感想から



今日は、田んぼの中でドジョウ・カエル・コウチュウ・ウキクサなどの生き物を採ることで田んぼの中の生態系を実感しました。教室では学ぶことができないことを学ぶことができました。有機農法は、生き物のすみかを作りますが、その代わりにコストや手入れの手間がかかり、米の取れる量も少ないなどのデメリットがあります。慣行は、手間が減り米の量も多いですが、

生き物が住みにくい環境になります。どちらも人間にとってメリットデメリットがあるけど生き物全体のことを考えると、もっと有機農法が増えればいいと思います。

体力の向上をめざして … 児童が主体となる活動を仕組む

全校レク



ヨガインストラクターの佐々木ユカさんを講師にお招きし、親子のスキンシップがたっぷりのレクを楽しみました。暑い

体育館で体もホット。それ以上に、心もホット

になりました。レクの後には、夏休みのプール監視に備えて備北消防の方から救急救命法講習を受講させていただきました。

水泳指導



君田支所で管理していただき、整った環境の中で水に親しみ、泳力を伸ばすことができます。午後からは暑さによって中止せざるを得ない状況となり、午前中に変更して指導を行いました。

ドッジボール大会



健康委員会が先生たちにやらされるのではなく、「やりたい」と考えた行事の企画書を作成し、ドッジボール大会が開催されました。お昼休憩に何度も集まって相談や準備をしました。低学年にもボールが渡るルールを作り、当たっても痛くない中学校のソフトバレーボールを借り、みんなが楽しめる様に工夫しました。また司会、進行を役割分担して行い、4つの縦割り班がくじで対戦チームを決め、トーナメント方式で順位を競い、優勝チームには賞状が授与されました。

9月の行事予定

日	曜	行 事 予 定	一斉下校	日	曜	行 事 予 定	一斉下校
1	月	2学期始業式	14:30 臨時バス	16	火	P 街頭指導	14:30 臨時バス
2	火		14:30 臨時バス	17	水		15:20
3	水	職員研修	15:20	18	木	職員研修	14:30 臨時バス
4	木	P 街頭指導	14:30 臨時バス	19	金	神楽クラブ	15:20
5	金	委員会⑥	15:20	20	土	週休日	
6	土	週休日 近郷神楽大会		21	日	週休日	
7	日	週休日		22	月	社会見学(2～4年)	15:20
8	月	スクールカウンセラー来校日	15:20	23	火	秋分の日	
9	火		14:30 臨時バス	24	水		15:20
10	水	身長・体重測定	15:20	25	木	市主催職員研修会	13:40 臨時バス
11	木	職員研修	14:30 臨時バス	26	金	月末読書 野外活動予備日	15:20
12	金	野外活動(5・6年)	15:20	27	土	週休日	
13	土	週休日		28	日	週休日	
14	日	週休日		29	月	スクールカウンセラー来校日 交通安全テント村(5・6年) 諸費口座振替日	15:20
15	月	敬老の日		30	火		14:30 臨時バス

☆8月の主な行事予定☆

4日(月)小中合同慰霊祭

12・13・14・15日閉庁日

21日(木) 登校日

2～4年 11:30下校

5・6年

防災学習(午前)

リンクアップコンサート

(午後)

詳細は別途連絡します。

24日(日)環境整備作業

(児童参加)

28日(木)諸費口座振替日

☆10月の主な行事予定☆

1日(水)個人懇談

26日(日)あったか村フェスティ

バル・読書まつり

27日(月)振替休業日

28日(火)諸費口座振替日

質の高い学びを創る ～自分の考えをもたせる～

本校では毎年平和集会を行っていますが、広島に原爆が投下された日時が正確に答えられたのは、一人だけでした。被爆80年、戦争の悲惨さや平和の尊さへの意識が薄れてしまうことが懸念されます。今年は「8月6日のこと」「祈りの石」の2冊の絵本を読み聞かせ、感想を交流しました。折り鶴を折り、小中合同慰霊祭へ出席する執行部へ「平和への願い」を託します。



夏休みに、三次市内の5・6年生が「きりり」で体験型コンサートに参加します。みんなと一緒に歌ったり演奏したりする3曲を練習しています。

2年生が算数で苦手な文章題に挑戦！問題を読み解き、図や式に表しました。



茶褐色の細長い体に雲や星のような斑紋が散らばる。体長10センチほど。広島、島根県境の赤名峠に近いうめ山にすむ新種の小型サンショウウオで「メガメサンショウウオ」の遺伝子分析から、広島

多様性の教室

と呼ぶ。由来の山の麓にある三次市作木町岡三淵での探索会に参加した。親子連れたちと森の湿地へ。草むらを縫う細い水の流れに網を入れ泥をすくうと、えらの残る幼

生が次々見つかった。「この地で万年、命をつないできた」。講師を務めた命名者の内藤順一さん(74)が熱く語った。

30年以上の踏査と共同の遺伝子分析から、広島

潮流

三次支局長 広田恭祥

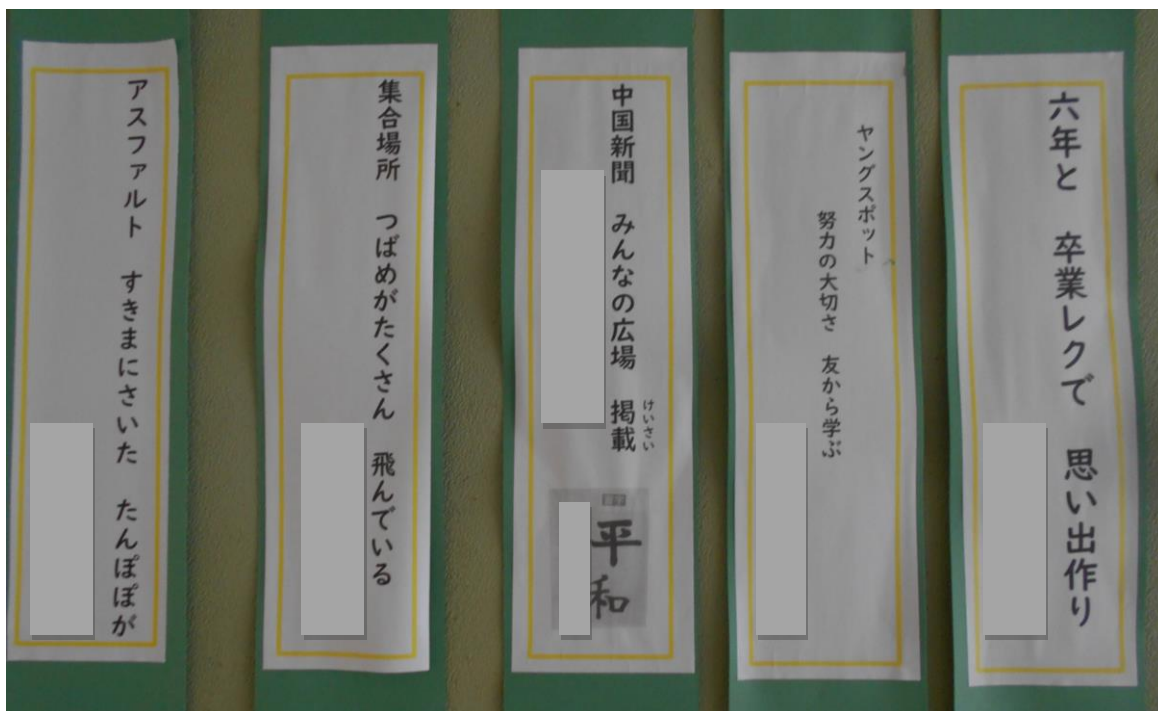
リーズは私自身もよく使う。ただ、太古から変わらぬ小さな姿を眺めていると、まだ知らないことばかりだと感じた。

半月後、三次市内の青田で君田小5、6年生10人が生き物の多様さを調べるフィールドワークに同行した。化学肥料などを使わない有機栽培の田と、除草剤も一定に使う隣の田に入り動植物の種類や数を比べた。

ぼの生き物は約5500種が確認されていて、地球上には推定で3千万種がいると教わった。手網を握り、泥の中で児童たちはアシナガグモやゲンゴロウ、ドジョウ、希少な水草も見つけた。古里の田園が地球を守り、地域の防災にも役立つと知って誇らしげだった。

「田んぼはお米を作るだけじゃない。生き物を育む宝庫」と楠本博士。人間が無縁ではいられない多様性の意味と学びの大切さをかみしめた。





今年も民生委員さんが花壇を花いっぱいにしてくださいました。



努力の大切さ 友から学ぶ

わたしがこの1年間でできるようになったことは、なわとびの「かえしとび」や「あやとび」、「交差とび」です。

できるようになったのは、同級生の友だちが努力の大切さに気づかせてくれたからです。それまでは「なわとびなんて、練習しなくてもできる」と思い、あまり練習をしていませんでした。

その友だちは「2重とび」や「かえしとび」を上手にやっていました。「いつからそんなにできるようになったの?」と聞くと、「毎日練習して努力したら、できなかったわさができるようになった」と教えてくれました。

努力すれば、わたしもいろんなわさができるようになるかなと思い、足がきん肉つうになるくらい、毎日ががんばりました。できなかったわさができるようになりました。

努力すると、できないことがどんどんなくなっていくことがわかりました。それは友だちのおかげです。友だちと努力を大切にしてい、前向きに生きていきます。

(三次市)

